

日本現代中国学会 2013 年度関西部会大会のご案内

日本現代中国学会 2013 年度関西部会大会のプログラムをお届けいたします。周囲の方々にもお声をかけていただき、多数ご参加いただきますようお願いいたします。

出欠につきましては、別紙「参加申込書」にご記入の上、5月27日(月)までに、メールまたはファックスで事務局総務宛にご回答ください。会場の都合上、事前に参加人数を把握する必要がありますので、お手数ですがご協力くださいますよう、よろしくをお願いいたします。

参加申込書送信先：関西部会事務局（総務）北川秀樹

メール：kitagawa@policy.ryukoku.ac.jp ファックス：075-645-2101（「北川宛」と明記願います）

日本現代中国学会 2013 年度関西部会大会〈プログラム〉

日時：2013年6月8日（土）9:30～17:40（受付は午前9時より開始）

会場：龍谷大学ともいき荘（京都市上京区室町通下長者町下ル近衛町38）

京都御所蛤御門西、護王神社裏

アクセス、地図 <http://www.ryukoku.ac.jp/tomoikiso/access.html>

参加費：無料（懇親会費用は別途）

【自由論題報告】 9:30～12:00（報告 30 分、コメント・討論 20 分）

【文学・歴史分科会】

司会：松浦恆雄（大阪市立大学）

第一報告（9:30～10:20）：高橋俊（高知大学）「上海の広東人—穆時英の小説から—」

コメンテータ：濱田麻矢（神戸大学）

第二報告（10:20～11:10）：池田智恵（関西大学）「1940年代における孫了紅の「俠盜魯平案」について」

コメンテータ：松浦恆雄（同上）

司会：内田尚孝（同志社大学）

第三報告（11:10～12:00）：菊地俊介（立命館大学・院）「日本占領下華北における欧米キリスト教会の社会事業」

コメンテータ：内田尚孝（同上）

【経済・社会分科会】

司会：王京濱（大阪産業大学）

第一報告（9:30～10:20）：姚新華（北京大学）「中国におけるトン(侗)族の喫煙文化の社会学的研究—湖南省、貴州省および広西省での調査をもとに」

コメンテータ：小林正典（和光大学）

第二報告（10:20～11:10）：王娜（中央大学・院）「山東省における地方財政支出と都市・農村所得格差の実証研究」

コメンテータ：梶谷懐（神戸大学）

第三報告（11:10～12:00）：王勇慷（大阪産業大学・院）「中国の経済成長に伴う精神疾患患者の急増とその解決法としての内観療法」

コメンテータ：横井和彦（同志社大学）

【法律・政治分科会】

司会：王晨（大阪市立大学）

第一報告（9:30~10:20）：杜震（日本大学）「中国の「維穩」体制とその問題点」
コメンテータ：松村嘉久（阪南大学）

第二報告（10:20~11:10）：陳俊峰（同志社大学・院）「ミャンマーのミッソンダム建設凍結にみる中国の対外投資戦略の問題と課題」
コメンテータ：水野敦子（九州大学）

第三報告（11:10~12:00）：櫻井次郎（神戸市外国語大学）「中国における環境公益訴訟の試みとその限界」
コメンテータ：通山昭治（中央大学）

【環境分科会】

司会：林幸司（滋賀県立大学）

第一報告（9:30~10:20）：王天荷（京都大学・院）「中国における環境税の理論と現実—環境税の定義を巡る議論についての考察」
コメンテータ：川勝健志（京都府立大学）

第二報告（10:20~11:10）：寇鑫（龍谷大学・院）「中国乾燥地域における農村水資源管理システム—陝西省、甘肅省を例として—」
コメンテータ：窪田順平（総合地球環境学研究所）

第三報告（11:10~12:00）：金紅実（龍谷大学）「中国京津風砂源における砂漠化対策の展開と現状」
コメンテータ：窪田順平（同上）

昼食休憩（12:00~13:00）

【共通論題 シンポジウム】13:00~17:40

「新しい日中関係を模索する—日中国交回復 40 周年を超えて—」

司 会：西村成雄（放送大学）

趣旨説明：辻美代（日本現代中国学会関西支部代表・流通科学大学）

【特別講演】 13:10~14:40 丹羽宇一郎前駐中国日本大使

休憩(14:40~14:50)

【パネルディスカッション】

14:50~15:20 【政治領域】 西倉一喜（龍谷大学）

15:20~15:50 【経済領域】 服部健治（中央大学）

15:50~16:20 【文学・文化】 毛丹青（神戸国際大学）

16:20~16:30 休憩

16:30~17:10 フロアーからの意見および質疑

17:10~17:40 フロアーとの討論およびまとめ

[懇親会]18:00~20:00

会場：京都ガーデンパレス（部会大会会場から徒歩 5 分）

一般 5,000 円 学生（院生）3,000 円 *参加希望者は必ず事前にご連絡をお願いします。

●関西理事会のご案内

昼食休憩中に関西理事会を 3 階・研修室 4 にて開催いたします。関西理事の方は、5 月 27 日(月)までに出欠を事務局宛お知らせください。

●参加者の皆さんへ

1. 会場には、駐車場、駐輪場はありませんので、公共交通機関でお越しください。
当日の昼食は周辺のレストランをご利用になるか、お早めに周辺のコンビニなどで弁当を購入するようお願いいたします。
2. 出張依頼状は公印を押す必要があるため、全国事務局で発行します。必要とされる方は、下記宛ご連絡ください。
〒166-8532 東京都杉並区和田 3-30-22 大学生協学会支援センター内
日本現代中国学会事務局
Tel 03-5307-1175、 Fax 03-5307-1196 E-mail: genchu@univcoop.or.jp
3. 関西部会大会では、学会費の取り扱いいたしません。学会費は本部事務局に納入ください。本部事務局振替口座番号は、学会 HP に記載されています。
4. 会場にはコピー機(カード式)が 1 台設置されていますが混雑が予想されるため、報告者の方は、配布資料をあらかじめ印刷してご持参下さい。

日本現代中国学会関西部会事務局

〒651-2188 神戸市西区学園西町 3 丁目 1 番

流通科学大学総合政策学部 辻美代研究室

連絡先：

事務局総務・北川秀樹

kitagawa@policy.ryukoku.ac.jp

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67 龍谷大学政策学部

ファックス：075-645-2101（北川宛と明記ください）

【共通論題 シンポジウム 問題提起】

「新しい日中関係を模索する-日中国交回復 40 周年を超えて-」

昨 2012 年は日中国交正常化 40 周年であり、500 以上のイベント・行事が予定されており、本来なら日中間の節目の年になる筈でした。しかし、九月には尖閣諸島問題を巡って大規模なデモが中国各地で起こり、一部は暴徒化して日本企業などが襲撃されるという事態に発展し、日中関係は国交正常化以後最悪の状態となってしまいました。そのため、予定されていた記念行事の大半が中止に追い込まれてしまいました。2013 年に入っても、日中関係は不安定な状況が続いています。

現中學會関西部会は、現代中国研究者の集団として、また現代中国を学際的に研究する学会として、この状態を憂え、「冷静で建設的な交流・批判・理解の場」（現中學會HP 学会概要）を提供するために日中問題に積極的に取り組んでおります。昨年度関西部会大会共通論題では、「日中国交正常化 40 年」と題し、グローバル化に起因した日中関係の変化を考えました。昨年一二月には毛里和子学会顧問（早稲田大学名誉教授）をお招きして「日中関係を考える講演会」を開催しました。本年はそれらを受けて関西部会大会共通論題を「新しい日中関係を模索する-日中国交回復 40 周年を超えて」とし、国交正常化以降 40 年を射程にした日中関係問題を考えることといたしました。

共通論題では、長年経済人として日中関係に関わってこられ、また昨年の日中間交渉での第一線でご苦労を重ねられた丹羽宇一郎前駐中国日本大使にその経験・教訓と新しい日中関係への提言を含めた特別講演をお願いしたところ、快諾していただきました。質疑応答にも応じてくださいます。さらに、特別講演を受けて、政治・経済・文学文化の三領域から報告をおこない、参加者と共に討論することといたしました。

もとより共通論題は思考の材料を提供し意見交換をおこなう場であり、ただちに一つの結論を出すことを目的とはしておりません。多くの会員の皆さまが積極的に参加し、日中関係の過去・現状・将来について活発な討論が行われることを願ってやみません。（会員以外の方も参加できます）